

提出 順番	No. 10	令和2年6月4日 午前・ 午後 4時05分受領
----------	-----------	---------------------------------------

令和2年6月4日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>1 G I G Aスクール構想の実現に向けての取組</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休校に伴い、パソコンなどの情報通信技術(ICT)を活用したオンライン授業が注目される一方で、そうした機器や通信環境を持たない家庭への対応が課題となっています。</p> <p>G I G Aスクール構想は、全国の小中学生一人ひとりにパソコンやタブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを構築する計画です。</p> <p>現在ではICTは仕事や家庭などの社会のあらゆる場面において、日常的に活用され生産性や利便性の向上に寄与していることから、学校教育への導入が「多様な子どもたちを誰一人も取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びに寄与するもの」「特別な支援が必要な子どもたちの可能性も大きく広げるもの」と期待が持てます。そこで以下の点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本町における小・中学校の通信環境の整備状況と今後の整備計画について ② 国が掲げる導入スケジュールに対応可能なのか、また、使用開始予定は ③ 教員用のパソコン整備は ④ 電子黒板の拡充については ⑤ 情報モラル、有害情報対策にどのように取り組むのか

2 就職氷河期世代の
支援について

現在30代半ばから40代半ばとなっている、いわゆる就職氷河期世代はバブル経済崩壊後の雇用環境が厳しい時期に就職活動を行ったため、希望する就職が出来ず、不安定な仕事に就いている人や無業の状態にある人、さらには、引きこもりの状態にある人など、様々な課題に直面している人が国では100万人いると見込んでいます。

こうした中、昨年国は就職氷河期世代支援プログラムを発表しました。主に40歳未満の若者の就職支援を行う地域若者サポートステーション等のアウトリーチ機能の強化、そして企業に対して行われる各種助成金の見直し等を3年間で集中的に取り組むことにより、就職氷河期世代への正規雇用を30万人増やすことを目指すとしています。

就職氷河期世代への支援は支援対象者の高年齢化が進行していることから早急に取り組むべきであると考えます。以下について伺います。

- ① 支援対象者の実態把握やニーズ調査などの状況は
- ② 就職氷河期世代からの相談件数、対応状況は
- ③ アウトリーチ型支援強化につなげる地域としての支援体制は
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大で労働環境が厳しい状況になった方の把握及び、相談の状況は